

中沢乳業株式会社

湘南工場/神奈川県藤沢市

当社は創業以来、一世紀を超える長きにわたり、生クリームを中心とした業務用乳製品を提供してきました。高度な技術で開発したオリジナル製品は、厳しい「食」のプロからも厚い信頼を受け、現在の業務用市場をリードしています。特にライフスタイルの多様化・個性化が進み、食生活においてもヘルシー志向やナチュラル志向に加え、「食」の楽しさを追求する傾向がますます高まっています。お客様との密接な情報交換を通じて高品質な乳製品の開発を行っていくという、いわば「お客様との「協創」の製品づくりを進めています。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型ガスエンジン390kW×1台
- 共同申請者：東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
- 導入方式：エネルギーサービス方式
- 補助金額：37,895千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[給電] 避難スペースへの照明の利用、コンセントの利用、井水ポンプおよび製品製造設備の利用
[温水] ボイラ給水加温として利用
[蒸気] 製造設備殺菌洗浄等として利用

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	1,519㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

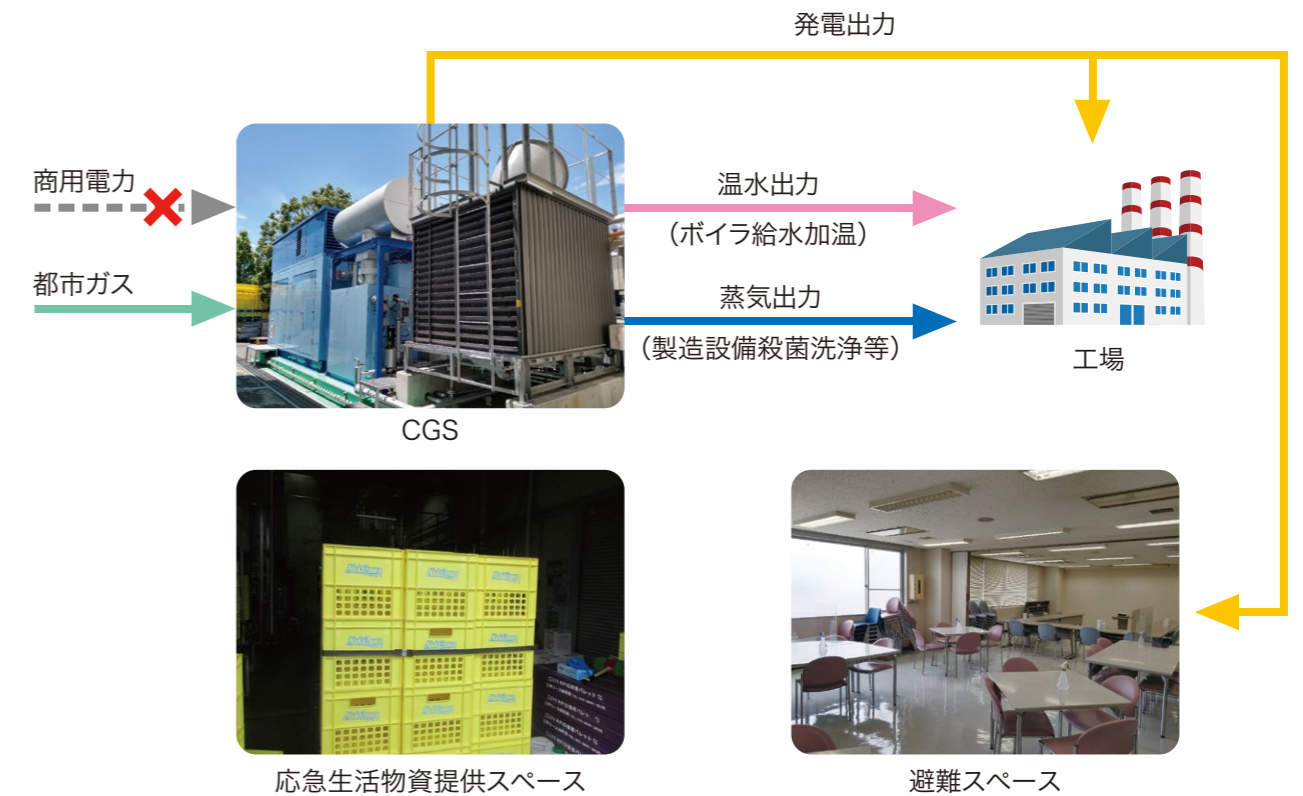
中沢乳業株式会社 生産部 技術開発課 国分 誠 様

2005年から標準型ガスエンジンCGSを使用しており更新時期を迎えていました。この度、よりいっそう本業に専念するため、遠隔監視、定期メンテナンス、故障対応等種々の業務の包括的な対応が可能なエネルギーサービス方式を採用することとしました。東日本大震災の際には藤沢市が計画停電の対象になったこともあって、災害時の停電リスクに備える対策として停電対応型ガスエンジンCGSの導入を決めました。要件を満たせば補助金の活用も期待でき、トータルコストの圧縮が可能なためコスト面の課題もクリアできました。

ガス会社様より、近年の大きな地震のいずれにおいても中圧ガス導管による供給停止はなかったと聞いていましたが、最近多発している風水害の影響も受けにくいことがわかり、BCP向上に大きく寄与することが期待でき、都市ガス供給に対する信頼性も増しています。また、湘南工場は住宅街の中に位置しており、藤沢市からも防災・減災の施策の更なる充実に繋がると喜ばれております。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



照明



トイレ



洗面



コンセント

協定概要

藤沢市とは「災害時における応急生活物資供給及び避難所としての施設使用等の協力に関する協定書」を締結(令和4年1月)し、地震、風水害その他災害が発生、または発生の恐れがある場合には、災害時応急生活物資の供給および避難所として地域に貢献する。飲料水や市が指定する物資等の応急生活物資は1F入口付近にて提供が可能である。また、照明、コンセント、トイレおよび洗面(男、女、お湯の利用含む)が災害時にも継続利用できる計画となっている。